

# 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 静岡県消防協会

「消防防災の能力の強化、活性化等に関する事業を行い、もって災害防除と地域社会の健全な発展に寄与すること」(定款第 3 条)を目的に、以下の事業を実施した。

消防団及び消防団員数(平成 30 年 10 月 1 日現在)

35 団 19,663 名(男性:19,225 名 女性:438 名)[定員:21,633 人]

## 1 消防団員の消防防災に関する技術の向上及び教育訓練

### (1) 教育訓練指導員研修会の開催

支部教育訓練指導員の消防技術の向上を図るため、教育訓練を実施した。

第 1 回 平成 30 年 6 月 10 日(日) 静岡県消防学校

支部教育訓練指導員研修者 86 名

第 2 回 平成 31 年 3 月 16 日(土)～17 日(日) 静岡県消防学校

支部教育訓練指導員研修者 97 名

### (2) 全国消防操法大会への出場及び助成

第 26 回全国消防操法大会に、静岡県代表として出場した長泉町消防団に対して助成金を交付した。

平成 30 年 10 月 19 日(金) 富山県広域消防防災センター(富山県富山市)

助成金 1,000,000 円

優秀選手 4 番員 鈴木 亮平

優秀選手の鈴木亮平団員に対し、静岡県消防協会会長表彰を贈呈した。

### (3) 支部共催訓練、地震対策訓練に対する助成

支部が実施する組織結成等に要する費用、装備品等の整備に要する費用、支部共催訓練等消防団の活性化に寄与する事業に要する費用に対し助成した。

助成金 11,000,000 円

(4) 支部教育訓練指導に対する助成

支部が実施する教育訓練等を開催する費用、県協会が主催する教育訓練指導員研修会出席に要する費用に対し助成した。

助成金 2,135,000 円

(5) 消防団員指導員研修（現場指揮課程）の実施

日本消防協会及び静岡県消防学校と連携し、消防団員指導員の養成を行う研修を実施した。日本消防協会補助金を財源として、講師謝礼、受講経費、図書、資機材等の経費を手当てした。

平成 30 年 11 月 3 日（土）～4 日（日）静岡県消防学校

受講者 75 名 修了者 73 名

外部講師謝礼・旅費、教材費、研修施設借上費等 211,294 円

(6) 県消防学校の消防団員研修への助成

県消防学校が主催する消防団教育に対し、図書、資機材等の経費を消防学校に助成した。

① 幹部教育 指揮幹部科 分団指揮課程（第 3 期）

平成 30 年 12 月 8 日（土）～9 日（日）

受講者 52 名 図書及び事務用品購入費 45,772 円

② 幹部教育 初級幹部科（第 10 期）

平 30 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）

受講者 43 名 図書購入費 61,650 円

③ 専科教育 警防科（第 13 期）

平成 30 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）

受講者 64 名 図書購入費 87,680 円

(7) 消防大学校の教育訓練への参加・助成

消防団長科（第 74 期）1 名 平成 30 年 12 月 3 日（月）～7 日（金）

入校者 清水町消防団 団長 山本俊洋

助成金 100,000 円

(8) 日本消防協会の特別研修への参加

① 第 45 回消防団幹部特別研修会

平成 31 年 1 月 15 日（火）～18 日（金）

研修生 袋井市消防団 副団長 山崎 富

② 第 18 回消防団幹部候補中央特別研修

○男性の部 平成 31 年 1 月 30 日（水）～2 月 1 日（金）

研修生 函南町消防団 団 員 大隈 薫典

静岡市消防団 団 員 齋藤 恭平

菊川市消防団 分団長 宮城 尚史

○女性の部 平成 31 年 2 月 13 日（水）～15 日（金）

研修生 函南町消防団 班 長 飯島 美貴

浜松市消防団 団 員 明保 里美

## 2 消防防災に関する指導、研修及び調査研究

### (1) 消防団長研修会の開催

市町消防団の団長に対する消防防災に関する特別研修会を開催し、講演等を実施した。

平成 30 年 6 月 22 日（金）みしまプラザホテル（三島市）

講 演 講師 甘木・朝倉消防署 署長 仲道 優

テーマ「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害（大規模災害と消防団活動について）」

参加者 副知事、団長 35 名、相談役 2 名、常任幹事ほか 14 名

### (2) 災害対応・防災対策状況等視察の実施

平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害における消防応援・受援体制の見直しなど様々な反省と課題、市町・住民の意識変化の状況、出水期対策、現地の被災状況や復興状況を把握するため、視察を実施した。

平成 30 年 10 月 28 日（日）～29 日（月）

甘木・朝倉消防署、平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害被災地

理事・監事参加者 16 名

## 3 消防防災に関する思想の普及啓発

### (1) 消防職団員意見発表会の開催

消防団員の団結と士気の高揚を図るとともに、一般の方々に消防団の意義を知っていただくため、消防職団員意見発表会を開催した。

平成 30 年 11 月 17 日（土） 清水テルサ（静岡市東部勤労者福祉センター）

- ① 「女性消防団としてできること」 下田市消防団部長 大石雅子
- ② 「地域に必要とされる消防団を目指して」 伊東市消防団分団長 野田直樹
- ③ 「消防団における大学生の立場について」 静岡市消防団団員 山口宗谷
- ④ 「実災害に強い消防団づくり」 掛川市消防団副団長 椋原 亮
- ⑤ 「強いものこそ優しく」 浜松市消防団団員 佐々木真梨
- ⑥ 「私達は、1人の消防団員である」 静岡市消防団団員 鈴木友華里
- ⑦ 「バーチャル訓練」 浜松市消防局消防士 中根和記
- ⑧ 「<sup>アイス</sup>ICEる防火衣」 静岡市消防局消防士 大竹達士

なお、平成31年2月10日（日）に開催された平成30年度全国消防団員意見発表会に、静岡県代表として山口宗谷団員が出席し優秀賞を受賞した。

## (2) 地域防災力向上シンポジウム in 静岡 2019 の共催・参加

地域防災の担い手として期待される女性や若者をはじめとした地域住民、消防団、自主防災組織、企業、医療・福祉分野等各分野の連携を深め、地域の防災力を高めることを目的として「地域防災力向上シンポジウム in 静岡 2019」を消防庁、静岡県及び静岡市とともに主催し、参加した。

平成31年2月3日（日） 静岡県立大学

参加者 女性消防団員 140名 その他消防職団員 205名

ほか一般参加者含め 計約700人

### ① 基調講演

「減災から防災社会の構築へ」

静岡大学防災総合センター長・教授 岩田 孝仁

### ② 事例発表

「地域と大学を結ぶ防災サークル」

静岡大学学生防災ネットワーク 河村 拓斗ほか

「市民に寄り添う消防団を目指して」

～女性だからできること・女性でもできること～ 静岡市消防団 廣澤千衣子

### ③ パネルディスカッション

テーマ「女性・若者をはじめとした地域防災の輪」

コーディネーター：岩田 孝仁（静岡大学防災総合センター長・教授）

パネリスト：松浦 文信（(公財)静岡県消防協会会長）

井上 靖子（静岡県女性消防団員連絡協議会会長）  
谷 茂樹（藤枝市青葉町中自主防災会会長）  
鈴木 政子（静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長）  
星野 真実（静岡県立大学防災ボランティアクラブ防'z）  
松岡 雷太（静岡新聞社社会部副部長）

（3）全国女性消防団員活性化大会への参加

全国の女性消防団員が集い、女性消防団員相互の情報交流を通じ地域防災力の向上及び女性消防団員の育成・活性化を図るため開催する第24回全国女性消防団員活性化大会に参加者を募り参加した。

平成30年11月9日（金）～10日（土）

ウカルちゃんアリーナ（滋賀県大津市）

女性消防団員等参加者 173名

（4）地域防災力充実強化大会への参加

消防団を中核とした地域防災力充実強化大会 in 徳島 2018 に参加した。

平成30年11月13日（火）アスティとくしま（徳島県徳島市）

参加者 2名

（5）「消防団応援の店」の普及促進

消防団員の確保や加入促進を図るため、事業所や販売店の協力により消防団員に対する各種サービスを提供する制度として、「消防団応援の店」の普及促進を図った。

下田市 2店舗

伊東市 23店舗

沼津市 1店舗

御殿場市 17店舗（「全国消防団応援の店」にも登録）

島田市 2店舗

菊川市 41店舗

湖西市 12店舗

「ふじのくに消防団応援連盟」参加団体運営観光施設 10ヶ所

（6）防火広報に対する助成

秋季・春季の全国火災予防運動に合わせて行う防火広報や模擬訓練実施に

対し、支部に助成金を交付した。

秋の全国火災予防運動 平成 30 年 11 月 9 日（金）～15 日（木）

春の全国火災予防運動 平成 31 年 3 月 1 日（金）～7 日（木）

助成金 1,000,000 円

#### (7) 静岡県消防大会における決議事項の要望活動の実施

平成 30 年度静岡県消防大会での下記決議事項 6 件を県議会議長等関係機関に要望した。

- ① 「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の期限延長について」
- ② 「準中型及び中型免許取得にかかる費用の補助について」
- ③ 「消防団員加入・促進を図る新たな補助制度の創設について」
- ④ 「事業所における消防団員確保対策の強化・促進と消防団員への支援について」
- ⑤ 「消防団員の処遇の改善について」
- ⑥ 「消防団員確保のための取り組みについて」

#### (8) 消防団防災学習・災害活動車両交付事務事業

日本消防協会消防団員等福祉共済の福祉増進事業の還元事業等として、防災活動車等の車両交付を行っているので、交付事務を実施し交付を受けた。

伊東市消防団	消防団活動車（SUV 型）	1 台
--------	---------------	-----

掛川市消防団	防災活動車（軽バン型）	1 台
--------	-------------	-----

#### (9) 消防制服整備

日本消防協会が実施する女性消防団員制服等交付事業により女性消防団員が円滑に制服を交付されるよう事務を行った。また、総裁及びその代理として各種行事に参加する県職員に対して、制服を貸与した。

女性消防団員制服交付 4 着

#### (10) 各種広報活動の実施・協力

ホームページでの消防団活動の PR、日本消防協会が作成する機関紙「日本消防」・ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」等での消防団及び団員の活動紹介、防火ポスターの配布等、消防団活動の PR 及び防火思想の普及高揚を図った。

ホームページ お知らせ、消防団案内、業務・財務資料等を更新した。

機関誌「日本消防」

平成 30 年 6 月号「東西南北」 吉田町消防団 団 長 和田 孝之

平成 30 年 6 月号「うちの名物団員」静岡市消防団 団 員 鈴木 愛理

平成 30 年 6 月号「うちの名物団員」藤枝市消防団 分団長 望月 俊治

平成 31 年 1 月号「第 26 回全国消防操法大会優秀選手紹介」

長泉町消防団 団 員 鈴木 亮平

#### 4 消防団、消防団員及び消防功労者に対する功労表彰

##### (1) 静岡県消防大会の開催

消防団長、教育訓練指導員として功労のあった者に対し表彰した。

併せて国、県、各市町長及び関係機関への要望を決議した。

平成 30 年 11 月 17 日（土） 清水テルサ（静岡市東部勤労者福祉センター）

##### ○消防協会役員退職者感謝状

今関 正興 （前 公益財団法人静岡県消防協会 会長）

増井 東 （前 公益財団法人静岡県消防協会 副会長）

牧野 克昭 （前 公益財団法人静岡県消防協会 副会長）

水永 茂 （前 公益財団法人静岡県消防協会 副会長）

槌屋 根 （前 公益財団法人静岡県消防協会 理事）

諸田 環 （前 公益財団法人静岡県消防協会 理事）

寺田 博紀 （前 公益財団法人静岡県消防協会 理事）

##### ○消防団長退職者感謝状

岩本 正 （前 下田市消防団 団長）

飯塚 豊 （前 沼津市消防団 団長）

植松 昌裕 （前 富士宮市消防団 団長）

今村 全伸 （前 森町消防団 団長）

##### ○教育訓練指導員感謝状

土屋 弘樹（熱海市消防団）ほか 計 14 名

##### (2) 静岡県消防協会定例表彰

平成 31 年 1 月 1 日（火）から 20 日（日）において、各市町消防団で開催された消防出初式において、消防活動等に功績があった消防団及び消防団

員に対する表彰並びに永年勤続（25年以上）団員の家族に対する感謝状を贈呈した。

功績竿頭綬（無火災）	熱海市消防団、伊豆の国市消防団
顕功章	1名
特別功績章	74名
功績章	142名
特別功労章	281名
功労章	439名
勤続功労章（50年以上）	1名
勤続功労章（45年以上）	1名
勤続功労章（40年以上）	8名
勤続功労章（35年以上）	32名
勤続功労章（30年以上）	70名
勤続功労章（25年以上）	143名
勤続功労章（20年以上）	281名
勤続功労章（15年以上）	437名
勤続功労章（10年以上）	739名
家族感謝状	143名

### （3）日本消防協会による表彰事務

日本消防協会表彰基準に基づき優良消防団（団員）等を選考の上、日本消防協会へ上申し、表彰された。

平成31年3月5日（火）第71回日本消防協会定例表彰式 日本消防会館

功績章	21名
精積章	49名
勤続章	69名

## 5 消防殉職者及び負傷した消防団員等に対する弔慰救済

### （1）第16回静岡県消防殉職者慰霊祭の開催

任務遂行中に殉職した消防団員及び消防職員の御霊の冥福を祈って、遺族参列のもと、第16回静岡県消防殉職者慰霊祭を開催した。

平成30年9月15日（土） グランシップ



参加者 ご遺族 47 名 ほか 計約 300 人

(2) 休業者見舞金の支給

公務災害事故により負傷した消防団員に対し、休業者見舞金を支給した。

御前崎市消防団 63,360 円

静岡市消防団 122,190 円

三島市消防団 580,160 円

(3) 全国消防殉職者慰霊祭への参加

第 37 回全国消防殉職者慰霊祭に県内の遺族とともに参加し、殉職者の御霊を慰めた。

平成 30 年 9 月 13 日 (木) 日本消防会館

参加ご遺族 3 名

## 6 消防団員の福利厚生等

(1) 福祉共済等事業

日本消防協会の福祉共済への加入及び給付金の請求・交付事務を行うとともに、消防個人年金制度の加入促進を図った。

継続加入団体 35 団体 (34 消防団、1 消防本部)

加入者数 19,529 人 (平成 30 年度末現在)

交付共済金額 11,293,000 円

消防個人年金制度

加入者数 1,130 人 (平成 31 年 1 月現在)

(2) 健康維持・体力錬成の推進事務事業

消防団員の健康増進等を促進するため、日本消防協会の消防団員等福祉共済による助成を受け、健康増進機器等を購入配布する事務を行った。

(3) 火災共済事業

全日本消防人共済会の火災共済事業の加入促進を支援した。

火災共済の契約者数 1,261 人 (平成 30 年 12 月末現在)

## 7 会議等

(1) 県消防協会関係

① 評議員会

平成 30 年 5 月 24 日 (木) グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 平成29年度事業報告について  
2号議案 平成29年度収支決算について  
3号議案 補欠評議員の選任について  
4号議案 理事、監事の選任について

② 理事会

第1回 平成30年5月9日（水）グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 平成29年度事業報告について  
2号議案 平成29年度収支決算報告について  
3号議案 定時評議員会の開催について  
4号議案 公益財団法人静岡県消防協会特別会員等の選任規程の改正について

第2回 平成30年5月24日（木）グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 会長の選任について  
2号議案 副会長の選任について  
3号議案 常務理事の選任について  
4号議案 公益財団法人日本消防協会監事及び評議員並びに全日本消防人共済会総代の選任について  
5号議案 参与の選任について  
6号議案 全国消防操法大会出場団への支援金の授与について

第3回 平成30年7月19日（木）グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 第16回静岡県消防殉職者慰霊祭について  
2号議案 各委員会委員の選任について

第4回 平成30年10月4日（木）グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 平成30年度静岡県消防大会について  
2号議案 静岡県消防協会役員等制服規定の改正について

第5回 平成30年11月30日（金）ホテルアソシア静岡

- 議 題 1号議案 平成31年度会費及び賞じゅつ金等負担割合について

第6回 平成31年3月14日（木）グランディエールブケトーカイ

- 議 題 1号議案 平成31年度事業計画について  
2号議案 平成31年度収支予算について

3号議案 掛川市消防団員への罹災者見舞金の贈与について

③ 正副会長会議

平成30年4月26日(木) ホテルアソシア静岡

平成30年7月6日(金) ホテルアソシア静岡

平成30年9月26日(水) ホテルアソシア静岡

平成30年11月27日(火) グランディエールブケトーカイ

平成31年3月7日(木) グランディエールブケトーカイ

(2) 日本消防協会関係

① 評議員会・理事会・全日本消防人共済会

平成30年6月15日(金) 日本消防会館

平成30年9月13日(木) 日本消防会館

平成31年3月5日(火) 日本消防会館

② 都道府県消防協会事務局長会議

平成31年2月26日(火) 日本消防会館

③ 中部地区消防協会実務担当者会議

平成30年7月3日(火) みしまプラザホテル(三島市)

(3) 中部7県関係

中部7県消防協会長及び消防主管課長会議

平成30年11月19日(月) 愛知県自治センター(愛知県名古屋市)

(4) 静岡県関係

① 静岡県消防学校運営協議会

② 静岡県防災会議

③ 静岡県山岳遭難防止対策協議会

④ 静岡県幼少年女性防火委員会

⑤ 静岡県交通安全対策協議会

⑥ しずおか男女共同参画推進会議

⑦ 静岡県コミュニティ推進協議会